

俳人 高野素十と南知多病院【理事長コラム】

高野素十（すじゅう 1893-1976）は、前理事長 田中徹（1926-2009）の俳句の師である。

素十は虚子の4Sの一人と言われ、写生句の虚子の後継者であった。

前理事長は、俳号を緑風子といい、十代から亡くなるまで俳句に勤しみ生涯、師は素十ただ一人であり、素十俳句に傾倒していた。

素十は緑風子の誘いで1970年脳梗塞の療養のため、南知多病院に3カ月 理事長 田中 誠 逗留している。病院を去るに当たり、一句詠んでいる。

「行く秋一日一日（ひとひひとひ）の惜しまるる」



素十の句

雪片のつれ立ちて来る深空かな
百姓の血筋の吾に麦青む
片栗の一つの花の花盛り
方丈（ほうじょう）の犬鹿（おおひさし）より春の蝶



ご家族様へのお知らせ

あい寿の丘、ひだまり、みなみ苑のご家族様へお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染が広まってきております。当施設も感染予防のため、12月1日より面会を制限させて頂くことになりました。

また、引き続きリモート面会を行っておりますので、ご利用を希望をされるご家族様はあい寿の丘までご連絡ください。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



新しい技能実習生です

1月1日より、あい寿の丘・ひだまりで技能実習生（第2期生）の実習が始まります。

新しい技能実習生をご紹介をさせていただきます。左から「ギラン・プラディカ・プラダナさん、グスティ・ソラワティさん、ゾニ・ダルミントンさん」です。

ご紹介をする機会がございませんでしたので、広報にて紹介をさせていただきます。



あい寿の丘 ほっかほか

ふれあいホットニュース



2020年12月 冬空号



～ 文化の日を楽しみました ～



11月3日の文化の日には、あい寿の丘とひだまりで、ご利用の皆さんが習字を行いました。

筆を手に取り、半紙に向かって書き始めると、最初は字が傾いたりしていましたが、何枚か書くうちに慣れてきて、立派な字になりました。

みなみ苑では、皆さんが多趣味のため、毛糸で帽子・テーブルクロスを編んだり、色々な物を作られていました。



季節の壁面作りを楽しみました

毎年恒例・只今そよかぜでは来年の干支の壁面を制作中です



今年もそよかぜでは、来年の干支の壁面を作成しています。お花紙を丸めることから始めました。毎日こつこつ丸める作業を行い、絵柄に合わせて貼り付けをしています。

クリスマスムード満点になりました

南知多町デイサービスでは、クリスマス用の壁面を作りました。

ご利用者に緑のお花紙でお花を作って頂きツリーの木の部分に貼り立体的にしました。

毎年作っていますが、なかなか思うように出来ないのは何故？と思いながらも、かわいいツリーが出来上がりました。

ご利用者からは「いいね～」「かわいらしいね～」と好評でした。



南知多町デイサービスで年末恒例のカレンダー作り



来年の干支は「丑」です。4種類の絵柄と色画用紙を選んで頂き、色画用紙に干支とカレンダーとを糊で貼り、来年の抱負を書いて飾りつけをしたら出来上がりです。

キラキラに飾りつける方、シンプルな方と様々でしたが、とても良いカレンダーが出来上がりました。

久しぶりに土いじりを楽しみました

あい寿の丘で、暖かな日に来春に次々と花芽を増やしてくれるパンジーをご利用者と職員で植えました。ご利用者は久しぶりに土いじりを楽しみました。

その次の日からは「花に水やりをしなくちゃ、水をあげるのに一升瓶か何かないかしら？」と、そんなご利用者達の会話が聞こえていました。



みなみ苑の美味しいおはぎに大満足

11月の手作りおやつは、ご利用者にもお手伝いして頂き、つぶ餡・こし餡・黄な粉のおはぎを作りました。

まずは1個ずつ。おかわりの欲しい方は2個目も食べ「3個目はあるかね？」と笑顔で聞かれましたが、お腹を壊すといけないのでご遠慮頂きました。でも皆さんからの「満足満足」の言葉が聞いて良かったです。

ひだまりで喫茶店を開きました

お好きな飲み物とデザートを選んでもらいました。

デザートは職員の手作りです。先月作ったぶどうシロップを使ったジュースも用意しました。

「種類がたくさんあって迷っちゃうよ」「どれも美味しそうだね」と、皆さんはメニューを見て、目がキラキラと輝いていました。



職員の永年勤続表彰を行いました

例年、5月のさわやか祭に行う職員の永年勤続表彰は、本年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、さわやか祭が中止になり実施できませんでした。

そのため、遅くなりましたが11月に勤続表彰を行いました。

- ・20年永年勤続表彰者：1名
- ・10年永年勤続表彰者：2名

